



在宅医療を考えよう



～いつまでも普通に楽しい暮らし～

『在宅医療』の基礎知識

「在宅医療」とは…

慢性的な病気で療養している人が、さまざまなサービスを利用して、住んでいる場所で医療を受けることを言います。入院や外来など病院に行かず自宅でサービスを受けることで、より本人の考え方などに合った医療を受けることができます。

住み慣れた場所で可能な限り過ごしたい人、病院への外来受診・入院が困難になってきた人、家族を自宅で看取りたい人などに利用されています。

どうやって利用するの？

それぞれのサービスによって対象者が変わります。介護認定を受けている人は担当ケアマネジャーへ、認定を受けていない人は地域包括支援センターへ相談してください。

どんなことができるの？

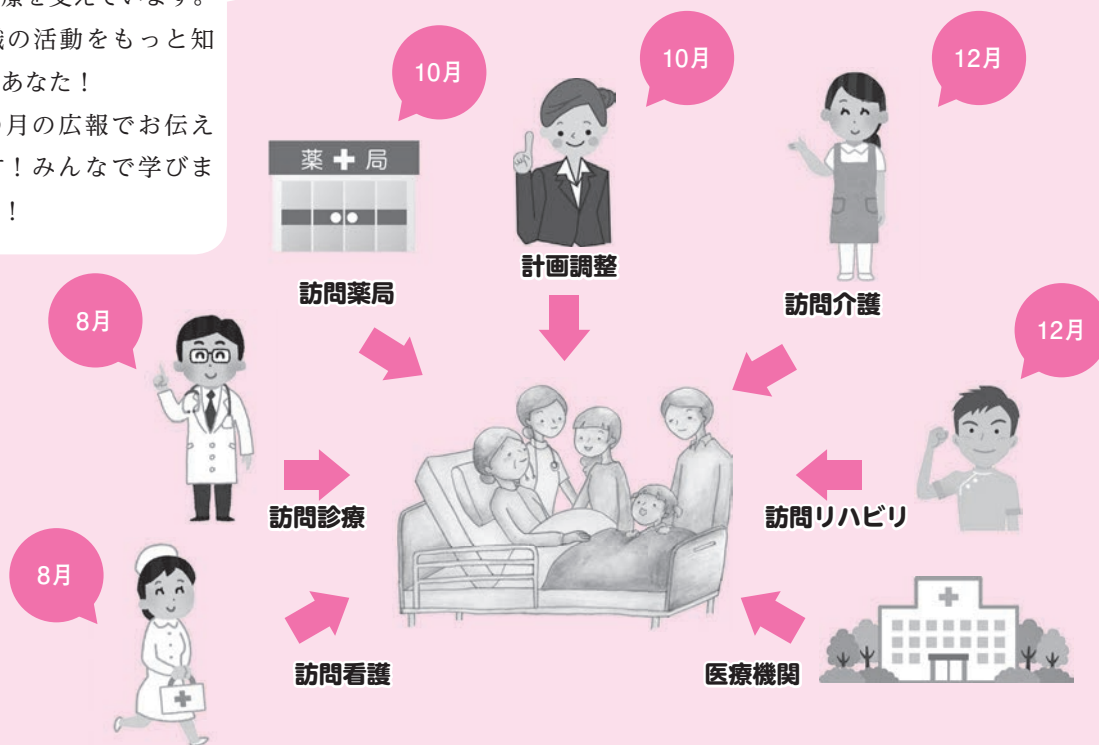
在宅でのリハビリや薬剤師による訪問指導から、訪問看護・訪問診療を利用して末期がんの痛みの緩和治療、点滴治療、パーキンソン病などの神経難病の治療まで、幅広く行われています。

自宅での医療となるため、胃カメラやレントゲンなどの検査は困難となります。

在宅医療を支える専門職

こんなに多くの専門職が在宅医療を支えています。専門職の活動をもっと知りたいあなた！

●の月の広報でお伝えします！みんなで学びましょう！



「在宅医療」に関する問い合わせは市地域包括支援センターへ！

問 市地域包括支援センター ☎ 227 - 6067